

《情報公開文書》

透析患者における下肢切断後の在宅生活に必要な因子の分析について検討

研究の概要

【背景】

- 透析患者は閉塞性動脈硬化症になりやすく、下肢切断に至ることも多くなっています。
- 切断患者の高齢化、義足作成困難となり、車椅子での生活を余儀なくされています。
- 切断患者は、移乗動作の獲得と排泄動作の獲得が自宅退院への必要な条件といわれています。
- 透析患者は週3回の通院が必要な為、地方では、長期療養となる患者が多くなっています。

【目的】

・何が自宅退院するために必要になってくるのか、切断後どうしたら在宅復帰しやすいか、身体機能面と背景因子から検討していきます。

【意義】

- 当院の維持透析患者で切断後の生活について背景因子（環境因子、個人因子）から検討し、一人でも多く在宅で生活できるよう関りを持っていくことが出来るようになります。
- 下肢切断となってもよりよいリハビリを実施し自宅での生活が送れるようにすべてのスタッフがかかわりを持つことが出来るようになります。

【方法】

- 後ろ向き観察研究と症例報告です。
- 2017年4月～2024年6月に下肢切断後に当院でリハビリを実施した24名です。
- 背景因子、記述統計としてノンパラメトリック検定を行います。

対象となる患者様

- 2017年4月～2024年6月に下肢切断後に当院でリハビリを実施した24名です。

研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者情報：年齢、性別、病名、切断日、透析歴、既往歴、入院期間、退院先、介護度、家族構成、住環境、経済状況、FIM

情報利用開始日

本研究は、病院長の許可日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

許可日から2024年12月31日

研究実施体制

研究責任者

所属：リハビリテーション科

氏名：田代 美和子

住所：佐世保市宮地町5-5

電話：0956-24-1010

情報の管理責任者	千住病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 千住病院 リハビリテーション科 田代 美和子 〒857-0026 佐世保市宮地町5-5 電話：0956-24-1010 FAX 0956-24-8590	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】 （臨床研究・診療内容に関するものは除く） 患者相談窓口：0956-24-1010 受付時間 : 月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）	